



Title	大阪大学低温センターだより No.127 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 2004, 127
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21642
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

〈編集後記〉

編集委員の一翼を担わせて頂いていることで、本号にあるような、海洋天然物からのがん分化誘導物質探求や、液晶中のアルキル基の役割、NMR測定によるたんぱく質研究などの興味深い解説記事を真っ先に読むことができます。どれも目新しく、おもしろく読めるものですが、専門外の人間には知るきっかけがないものばかりでした。

大学の研究の進展も大変早く、専門外の様々な分野の膨大な研究成果については正しく理解するどころか、ふれることさえほとんど不可能に近いのではないかと思います。

一方アカンタビリティーという言葉が一般的に受け入れられる様になったことが示すように、何をしているのかその分野に携わる人たち以外にも説明することができます要求されています。

このような相反する要素を少しでも解消するためには、この「低温センター便り」のような解説記事を主体とする雑誌の存在がますます重要になるのではないかでしょうか。

最近、所用で他大学を訪れる機会がありました。そこの棚に「低温センター便り」がさりげなくおかれていきました。私たち編集に携わる者が予想している以上に多くの方が本誌を目にしているのではないでしょうか。

今後とも大阪大学の最新の研究成果を分かりやすい言葉で広めるということができるようにはばずながら努力したいとおもわせられました。 (藤井研一)

大阪大学低温センターだより 第127号

平成16年7月 発行

編集責任者 北岡 良雄

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話 (06) 6879-7985

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話 (06) 6850-6691

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話 (06) 6443-0936 (代表)

目 次

No. 127

巻頭言

—見通し— 大山忠司 1

研究ノート

核磁気共鳴 (NMR) による蛋白質とリガンドとの相互作用の解析
蛋白研究所附属プロテオミクス総合研究センター 池上貴久 2

液晶分子中のアルキル基の役割
..... 理学研究科分子熱力学研究センター 斎藤一弥 8

抗がんリード化合物を海洋天然物に求めて 薬学研究科 青木俊二 14

運営組織 19

お知らせ

投稿のご案内 20
定期購読、送付先変更について 21

表紙説明：（上図）ANBC (22) の二種類の等方性液晶相 [Ia3d相 (左) とIm3m相 (右)]
に予想される凝集構造 (単位胞)。分子コアのつくる面状凝集体の立体配置を表す。
(下図) 蛋白質の立体構造。（本文参照）